

第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット

平井伸治鳥取県知事講演

H21.7.23

モンゴル中央県 テレルジホテル

尊敬する、モンゴル国中央県 エンフバト知事様、ロシア連邦沿海地方 ダリキン知事様、大韓民国江原道 金振煥知事様、中華人民共和国吉林省 韓長賦省長様、そしてご来席の皆様、こんにちは。

今回で14回目を迎えました北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットが、モンゴル中央県において開催されましたことを心よりお祝い申し上げます。皆様と再会することができ、とてもうれしく思います。また、この会議のためにリーダーシップを発揮されたエンフバト知事にあらためて敬意を表し深く感謝申し上げたいと思います。

まず、はじめに、皆様に改めてご報告したいことがございます。鳥取県境港市、江原道東海市、そして沿海地方ウラジオストク市を結ぶ国際定期貨客船「イースタンドリーム号」が、6月29日に江原道東海市から正式出港し、鳥取県境港市に6月30日(火)、ウラジオストクへは7月6日に初入港致しました。

ロシア極東地域、韓国東海と西日本を結ぶ唯一の定期貨客船航路となっていることから、国内の関心も高く、すでにロシア極東地域向けに鳥取県産のスイカを600玉輸出いたしました。また、韓国においては、すでに新航路を利用した日本旅行商品が多く販売されており、8月末までに5千人を超える韓国人観光客の方々が鳥取県を訪問される予定となっております。この航路就航がきっかけとなって、今後、各地域がますます強い絆で結ばれ、交流が深まっていくと確信しております。

本航路は境港市で開催されたサミットを契機として進展し、皆様の御支援、御協力のもとに、先般就航にいたったものであり深く感謝いたします。境港市で開催した就航記念式典には、江原道 金振煥知事様にご参加いただき、また、沿海地方 ダリキン知事様からはメッセージの送付をいただくなど、盛大な就航記念式典が開催することができ、大変嬉しく思っております。また、同じように東海、ウラジオストクにおいても記念式典が開催されました。私は、お互いに祝福し合うなかで、この航路が未来への扉を開け、新たな時代の幕開け、兆候となったのではないかと実感いたしました。

ただし、これは単なる第一歩に過ぎません。この航路を活用することで経済・観光交流をさ

らに活性化させ、北東アジアの経済発展につなげていくことが肝要だと考えます。そのためには、官民一体となった取り組みが必要であり、江原道、沿海地方とも連携して、先ほどいったことと同じ考え、航路活性化のための協議会を是非立ち上げるべきではないかと提案いたします。

さて、本航路は鳥取県が考える「北東アジアゲートウェイ構想」の基幹をなすものです。ウラジオストクにおいて開催されたサミットでも紹介いたしました。この構想は、北東アジア諸国と隣接している鳥取県の地理的特徴を背景とし、本航路や、米子ソウル便を国内の輸送網と連結することで、国際的な交通・交流ネットワークを構築し、鳥取県が北東アジア諸国との人的・物的交流の主要な拠点となることを目指す構想です。

空の玄関口である米子空港は、2001年4月から仁川空港と結ばれており、就航以来8年が経過しましたが、鳥取県と韓国との交流の中心的交通手段となっております。また、仁川空港はハブ空港であることから、ロシア・中国・モンゴルはもとより世界各国へ飛び立つことができます。すでに二国間にとどまらない多国間の交流基盤となっているのです。さらに、本年中には米子空港滑走路の2,500メートル化が実現することとなっております。飛行距離および輸送能力が格段に向上しますので、さらに大きな可能性を有した空路となります。

このように、鳥取県は日本と北東アジアを結ぶ結節点の役割を果たすべく着実に基盤整備を整えており、この「人」「モノ」「情報」の流れが促進され、相互理解、相互利益をさらに高めることといたしております。

鳥取県は、今後、この航路を活用し、ウラジオストクを窓口としてロシア極東地域、さらにはモスクワ地域との物流網の連結を図っていきたいと思っております。また、これにより、モンゴル中央県と鳥取県とを結ぶルートにも発展することが期待されます。また、ウラジオストクから豆満江を經由し吉林省を連結している既存の物流交通網を有効に活用することで、吉林省ともさらに緊密な関係を築くことができるのではないかと考えております。

また、東海は韓国の窓口に生まれかわりました。江原道内の各地域と鳥取をつなぎ、また、ソウルなど首都圏への玄関口ともなることで、東海は物流・観光の拠点としてますます重要な地位を占め、私たちと結びつきを強めるのではないのでしょうか。

そこで、私は、「ダイヤモンド・クインテット」(Diamond Quintet)というべき経済共栄圏構想を提案したいと思っております。

これまで、沿海地方、吉林省、中央県、江原道、そして鳥取県の5地域は、固く強い絆で結

ばれ、交流を深めてまいりました。その強固な信頼関係の下、この5地域の陸・海・空のインフラおよびネットワークを有機的に連結することが、北東アジア、さらにはヨーロッパにつながる交通網を構築し、「人」「モノ」「情報」が行き交う1つの経済共栄圏として、我々の未来と繁栄を築きあげることできるのではないのでしょうか。私は、これが「北東アジア大交流時代」の真の幕開けを迎えることで、現在直面している経済危機を克服するための処方箋になると確信しております。

本サミットは1994年に江原道東草市で初めて開催されて以来、さまざまな課題について意見を交わしてきました。2007年に境港市で開催したサミットでは、各地域の環境問題について提議がなされ「環境交流宣言」として各地域の行動指針について合意しております。その合意事項の中の一つである環境保護機関実務者協議会が、今回のサミットで開催されたことは、サミットの大きな成果であるとともに、黄砂問題などサミット参加地域が直面している共通の課題や問題を一緒に解決していくための基盤が整ったことを意味しております。

我々はこれまで、青少年交流、文化芸術交流、教育交流、スポーツ交流など、さまざまな分野において地域間交流を実施し、交流を深めてきたことで、未来に向けて強くて固い絆で結ばれている共同体であることを実感しております。

ダイヤモンドは地上において最も硬いです。我々もこのダイヤモンドのように固い絆で結びつき、これからも共に、豊かな未来を築き上げようではありませんか。

最後になりますが、本年10月、鳥取県において「日本のまつり・2009鳥取」が開催されます。国内外の地域伝統芸能が一堂に会し競演する国内最大規模のイベントです。サミット参加各地域からも伝統芸能団を派遣いただき感謝申し上げます。DBS 航路や米子ソウル便を利用して、是非、皆様にも鳥取県にお出でいただければと存じます。

今回のサミット及び関連事業の成功と、北東アジア地域のさらなる発展と交流促進を祈念いたしております。結びにあたり、このたびのサミットを準備してくださいましたエンフバト知事のご尽力にあらためて感謝の意を表するとともに、会議を準備いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。